

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org

★既に人口減少？

明けましておめでとうござ
います。かわら版も今月号か
ら足かけ四年目。今年もどう
ぞよろしくお願い致します。

さて、今日から通常国会が
始まりました。介護国会と言
われています。年頭に当たり、
日本の将来、とりわけ介護を
含む社会保障に重大な影響を
与える人口問題について改め
て考えてみたいと思います。
政府の人口見通しでは、二
〇〇七年から日本の人口が減
り始めます。ところが、過去
の実績データは、常に政府の
見通しより悪い結果になって
います。このため、日本の人
口は昨年中にピークアウトし、
既に減少過程に入っていると
いう見方もあります。

日本人口学会前会長で、人
口経済学の権威、大淵寛中央
大学教授によれば、現在の出
生率の傾向が続くと、百年後
には日本の人口はわずか九百
五十万人、現在の十二分の一

ぐらいになるそうです。ショ
ッキングですね。

日本の歴史において、戦争、
天災、飢饉などの特殊な事情
以外で、人口が減少したこと
はありません。有史以来、初
めての出来事です。

★人口推計のやり直しが急務

昨秋の臨時国会で、厚生労
働省が二〇五〇年の出生率を
一・三九と想定していること
が明らかになりました。厚生
労働省の出生率予測は過去に
一度も当たっていません。現在
一・二九のものが、どうすれ
ば一・三九に高まるのでしょ
うか。

僕がこの点を小泉さんに質
問したところ、小泉さんは自
分で答弁するのを嫌がり、厚
生労働省の幹部に答弁させま
した。曰く、「様々な少子化対
策が奏効し、出生率が回復し
てきます」とのことです。

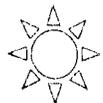
今までに一度も効果を発揮
していないのに、どうして今
回だけ効果があると言えるの

でしょうか。困ったものです。

厚生労働大臣の尾辻さんは
個人的によく知っている方で
す。信頼できる人です。「人口
推計をやり直し、そのうえで
年金制度も介護制度も再検討
すべきではないですか」とい
う僕の指摘に対し、尾辻さん
は「わかりました。やりませ
」と答弁されました。尾辻さん
と期待してますよ。

フランスでは、第三子以上
の出生、育児に対する政策的
配慮を厚くしたことで、人
口が増加に転じたと言われて
います。介護国会では、本格
的な少子化対策の実施を政府
に求めていきたいと思いま
す。頑張ります。





覚王山ゾクゾクコーナー



—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します！ ——

<今回は、「不老園」さんです>

不老園さんは、広小路通り南側、覚王山東の交差点角にある**和菓子屋**さんです。

創業はなんと**嘉永元年(1848年)**、ペリーが黒船で来航するより**5年も前**。当時は東別院近くで、みりんや茶道具の販売を手掛けており、その後、職人さんと呼んで和菓子の製造・販売をするようになったそうです。

覚王山にお店を出したのは戦後の昭和26年頃、今のご主人のお父様の代。その頃から徐々に今のお店の品揃えに近づいてきたとのこと。**自慢は季節の生菓子(190円～)であり、お茶のお友に最適**です。

また、「歌ごよみ」、「くず湯」は、鎌倉の名寺である円覚寺を筆頭に**全国から注文**が来るほか、常陸宮様もお取り寄せになられた逸品です。

「インターネットにも出していないのに、多くの方からご注文いただけるのです」とご主人の加藤さんご夫妻。まさに**和菓子の名店である証**といえましょう。皆様も是非お立ち寄りください！

不老園：TEL751-6232

